笹川准教授がコクヨデザインアワード 2018 のファイナリストに選出されました。

2019/3/12

国際文化学部デザイン文化学科の笹川寛司准教授がこのほど、文房具メーカーのコクヨ株式会社が主催するデザインコンペティション「コクヨデザインアワード 2018」でファイナリストに選出。1月 18 日に開かれた「ファイナリスト公開プレゼンテーション＆受賞作品発表＆審査員トークショー」に出席し、作品についてのプレゼンテーションも行いました。コクヨデザインアワードは、使う人の視点で優れた商品デザインを広くユーザーから集めて、商品化を目指すコンペです。今回は「BEYOND BOUNDARIES」をテーマに、国や言語、文化、性別、年齢などの"境界を越える"イメージの作品が募集され、1289 点（国内 766 点、海外 523 点）の応募がありました。

笹川准教授の作品は「罫線フェードアウト」のタイトルで、コクヨの人気商品であるキャンパスノートを題材に、特殊なインクで印刷されたノートの罫線が数年経つと徐々に消えていくというアイデア。「境界は時間とともに変化していくべきであるし、それはよりよい未来につながる前向きなイメージです。このノートを使う人に、小さなことからでもそんな気持ちになってもらえれば」と話しています。笹川准教授は04 年度の同コンペで審査員特別賞を受賞しています。

TOKAI UNIVERSITY

東海大学 国際文化学部 デザイン文化学科

〒005-8601 北海道札幌市南区南沢 5-1-1-1 Tel:011-571-5111

http://www.wd.u-tokai.ac.jp/